

経営方針と対処すべき課題（有価証券報告書より）

1 目指す姿と数値目標

パーパス（存在意義）

希望ある化学で、難題を打ち破る。

売上高
5,500億円

営業利益
600億円

EBITDA
1,000億円以上

GHG排出量削減
50%

2 中長期の経営戦略

1. スペシャリティ事業の拡大

ポリイミド、分離膜、セラミックス等既存事業の成長とウレタンシステムズ事業統合により収益拡大。米州拠点を加え4極体制構築。

3. 労働安全・保安防災

従業員が健康で働きやすい職場環境確保。安全・安心な設備で安定操業を継続。

2. 多様な人財の活躍

経験・知識・能力等多様な人財の採用と人事制度構築。ワークエンゲージメント改善によりウェルビーイング向上。

4. 地球環境問題への対応

カーボンニュートラル、サーキュラーエコノミー、ネイチャーポジティブの3課題に取組み。2030年度50%、2035年度70%削減を目指す。

3 対処すべき課題

① 経営環境の不確実性

- ・ ロシアウクライナ侵攻長期化と米中対立による世界経済の不安定化
- ・ 物価上昇、金利上昇に伴う需要減退の懸念
- ・ 地政学的リスク深刻化により先行き見通しづらい状況継続

② ポートフォリオ転換の実行

- ・ アンモニア・カプロラクタム・ナイロンポリマー事業の日本・タイ製造設備縮小・停止
- ・ 機械事業・セメント関連事業の株式上場による自立化推進
- ・ スペシャリティ化学企業への事業転換加速

③ 持続可能社会への対応

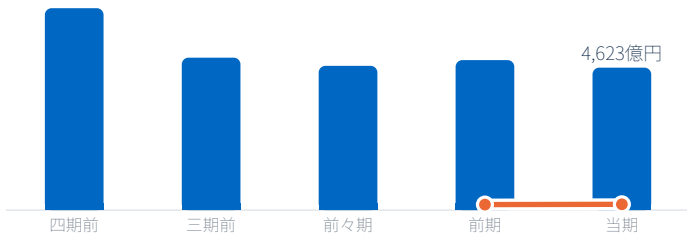
- ・ 地球温暖化、自然災害増加、インフラ老朽化への対応
- ・ DXによる競争優位性変化への対応
- ・ 健康・安全・安心についての意識高まりへの対応

面接で使えるポイント

- ・ 120年超の歴史で培ったモノづくり技術を活かし、スペシャリティ化学企業へ進化する方針と具体的施策。
- ・ 2030年度売上高5,500億円、GHG排出量50%削減目標達成に向けた事業ポートフォリオ転換の実行姿勢。
- ・ パーパス『希望ある化学で難題を打ち破る』の下、多様な人財活躍とカーボンニュートラル等を両立させる経営戦略。

証券コード 4208

業績の推移（売上＝棒 / 営業利益＝線）



※営業利益は直近2期のみ開示（有報の様式変更による）

暗記する数字3つ

連結売上高
4,623億円営業利益率
4.1%財務健康度
26点 / 100点

将来性 雨 / 就活偏差値 59.2（当サイト算出の参考指標）

平均年収
775万円

化学内 64位/204社

平均年齢
43.4歳

化学内 68位/204社

平均勤続
15.3年

化学内 123位/204社

女性管理職
6.5%

化学内 84位/173社

男性育休
96.7%

化学内 49位/154社

※平均年収は提出会社単体・有価証券報告書ベース。順位は同33業種内の掲載企業での比較。

ここから下は自分で書く（面接で話すこと）

志望動機の核

上の数字・事業と接続して書く

自分の経験との接点

逆質問メモ

※1つはデータ起点で（例：勤続年数が長い要因は…）

直近ニュース十一言

